

本日、防衛省から「米軍再編に係る訓練移転（回転翼機及びティルト・ローター機等の沖縄県外への訓練移転）に関する訓練計画概要について」（別紙参照）が発表されたことに関し、岩手県知事からコメントが出されましたのでお知らせします。

R3. 11. 11 16:15 復興防災部防災課

令和3年11月11日（木）

県政記者クラブ各位

知事コメント

日米共同訓練の実施については、国民の理解が不可欠であり、住民に身近なところで地方自治を担う県・市町村に対し、事前に十分に時間をかけて説明するとともに、国の責任において、地域住民に対し住民の生命・健康・財産等に影響を及ぼす訓練の安全性については、国が丁寧に説明していく必要があると考えます。

特に、オスプレイの飛行が伴う訓練については、これまでの経緯を踏まえれば、安全性等に対する地域住民の不安を払しょくすることが重要であり、国に対しては、従前からそうした対応を求めてきたところですが、未だ、住民の不安払しょくに向けた説明等は何らなされていません。

このため、先日、県から東北防衛局に対し、日米共同訓練の実施等に関し、

- ① 県民の安全と日常生活に支障を及ぼすことがないように十分に配慮すること。
 - ② 訓練内容等については、適時適切に情報を提供すること。
 - ③ オスプレイの本県上空飛行に際し、飛行日時や飛行ルート等の行動を明らかにしていただくとともに、オスプレイの安全性について県民等に対し丁寧な説明を行い、不安の払しょくに努めること。
- を申し入れたところです。

県としては、今後とも、国に対し、訓練内容等に係る情報提供や住民の不安を払しょくするための説明等を求めていくとともに、関係市等とも連携し、県民の安全を最優先に対応していく考えです。

岩手県知事 達増 拓也